

■■ウイルスを持たない・持ち込ませない■■

冬コミの時期に毎年全国的な流行を始めるインフルエンザはもはや良からぬ冬の風物詩だ。感染しても初期段階では自覚症状が無く、その潜伏期間内でもさらに外部にウイルスを撒き散らす厄介な病気で、冬コミのような『寒く乾燥して』『疲労や睡眠不足などで抵抗力の低下した人間が』『大勢密集している』環境はインフルエンザにとっては絶好のパンデミック（集団感染）のチャンスだ。しかも今年は他の感染症の流行も危惧されている。

全参加者が注意し、今回もウイルス排除排除！

■感染拡大警戒中！■

例年通り、すでにインフルエンザの流行は始まっている。その上、ここ最近は非常に感染力が強く、妊娠中の女性が感染すると特にお腹の赤ちゃんに危険な後遺症をもたらす【風疹-ふうしん-】の流行についてのアラートも出ている。

コミケットは全国から多くの参加者が集うので、その中で感染者が出ると、全国に一気にウイルスを配達してしまうことにもなりかねないので、全参加者が意識して防疫に務め、感染の拡大を防がねばならない。その第一歩は体調が優れない場合は、勇気をもって参加を中止することだ。これは個人ができる最大の感染予防策である。例え自分自身は単なる体調不良であったとしても、そういった状態では抵抗力も低下していることが多いので会場で感染者となってしまう可能性が高く、感染拡大リスクという面では変わらないのだ。特にサークル参加者にとってはこの選択は非常に厳しいものであるが、体調不良による欠席は会期後に所定の手続きを行うことで次回以降への参加ペナルティは回避できるので、数十万参加者と、その帰宅後の周辺（＝日本）を護るために、参加見合わせという決断を下してほしい。

■わたしにできること■

これらの感染症には予防接種による抗体生成か、体内へのウイルス侵入を阻止する水際対策を行うしか方法がない。

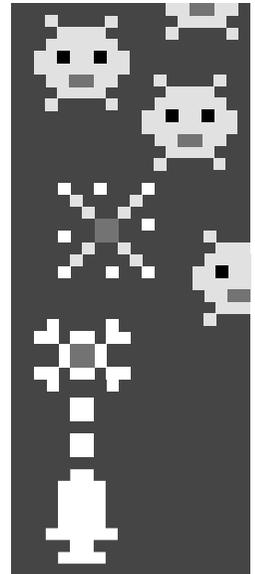
特に風疹は抗体がある人と無い人が混在しているので、周囲に感染すると危険な人が多いようなら、事前に医療機関で抗体検査を受け、抗体が無い場合には予防接種を受けておくことを考えるべきかもしれない。

予防接種も思い立って即受けられるとは限らない。受けるつもりがあるなら、なるべく早めに行動しなければならぬということは覚えておいてほしい。

コミケットのために予防接種を受けるのではなく、コミケットを理由に自分と周囲を守るために受けるのだと考えると良いかもしれない。

また、会場では屋外待機時や混み合った館内ではマスクを着ける、アルコール除菌ジェルやウェットティッシュを持ち歩き、飲食の前には必ず手指を拭く、機会を見つけてなるべく多く石鹸での手洗いとうがいを、こまめな水分補給で喉粘膜の乾燥を防ぐなどのインフルエンザ予防策を積極的に行う。

その上でもし、自分や同行者が体調を崩した場合は会期中でもなるべく早く、会場から撤収すること。万一のため、全員が自分の健康保険証と、持っているならお薬手帳、家族などの緊急連絡先を記したカードを持参するよう務めよう。



●君の名は……？

コミケットと一緒に参加する同行者が日頃から仲良しの友人だとしても、本名は？保護者や関係者の連絡先は？住所は？事故や急病などの緊急時にどこにどう連絡を取ればいいのか分かるだろうか？逆もまた然り、同行者はアナタのそれらの情報を知っているだろうか？ネット上の友人でプライベートの付き合いは無いのでむやみに個人情報を教えるのはちょっと、という場合もあるだろう。なので『緊急事態には、自分の荷物のここに必要な証書や情報が入っている』という事だけでもお互いに共有しておこう。

正体不明ですが仲良く！



謎の参加者X